

問 消防行政の連携は どうなっている

答 出動時や日々の情報交換で対応

新政とうかい 越智 辰哉 議員



問 消防行政はひたひたなか市との広域事務組合へ移行し、5年目に入った。道路工事に伴う通行止めや、住宅密集地における緊急車両の進入困難箇所の把握など、村役場と広域消防とは、日々のように連携しているのか。

答 道路工事等の通行止めは、警察署への申請と共に広域事務組合に届出が提出される。また、村内の緊急車両の通行困難な箇所が多数箇所あるが、定期的に消防職員が現場を確認して、緊急対応の円滑化に努めている。さらに、東海消防署内に村役場の非常勤職員を配置し、日々の情報交換はもとより、火災出動の情報共有を行っているほか、定例の消防団分団長会議などを通じて、連携・協力体制



の構築に心掛けていく。

問 村民からすると、消防行政に関する情報が不足しがちであるため、定期的に村広報紙に広域消防の記事を掲載すべきである。

答 機会を捉えて広報誌やSNS等を通じて情報発信に努める。

問 公共事業の 地元優先の取り組み

答 村内業者を優先的に指名している

新政とうかい 笹嶋 士郎 議員



廃止を提案した船場踏切

問 公共事業の早期発注状況は提出資料よりおおむね達成している。しかし、須和間踏切の歩道拡幅は、他踏切を廃止しても進めるべきであり、南中生徒の安全のために絶対必要である。現在の進捗状況を伺う。

答 踏切内の歩行者や自転車などの通行に不便をきたしている状況と認識している。他踏切を廃止することは、歩道拡幅の条件整備に有効な手段だが、地域の人の移動を制限するため検討は慎重に行っていく。

問 村内業者の優先は喫緊の課題であり、庁内全員の意識醸成をお願いしたい。工事や物品購入など村内業者で出来るものは、村内の業者・商店などに発注することが循環型社会に必要と思うがいかがか。

答 村内業者が受注することは、地域経済の活性化と村内業者の育成に繋がっていくものである。村内業者を優先的に指名している。しかし、透明性、公正性及び競争性を堅持することや、競争性を保つため村外業者を指名することもあり、ご理解をお願いしたい。